

報道関係各位

2019 年 2 月 1 日

## プログラマブル表示器生誕 30 周年 2019 年には 500 万台を突破予定

エネルギーマネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックが提供する、プログラマブル表示器のリーディングブランド「Pro-face by Schneider Electric」の「GP シリーズ」が、2019 年 2 月に生誕 30 周年を迎えます。

プログラマブル表示器（以下 HMI）とは、生産現場における各種設備や装置の見える化に貢献する表示・操作端末です。1989 年 2 月にシュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社の前身である株式会社デジタルが、世界に先駆け製品化し、「GP シリーズ」として出荷開始しました。当時、「絵でなければわからない」をキャッチフレーズに、スイッチやランプ、メーターなどのアナログ機器が中心だった制御盤を、デジタル化することで、機械・設備の「見える化」に貢献しました。1995 年には世界初となる高速 RISC CPU を採用した「GP577 シリーズ」を発売。高速性を活かしたデータ収集機能を搭載することで、操作表示用の現在データだけでなく過去のデータ表示を可能にしました。2000 年には、業界初なるイーサネット I/F を標準搭載した「GP2000 シリーズ」を発売、HMI が持つ豊富な通信プロトコルで収集したデータを上位システムに簡単に伝送する機能により、生産現場で必要なあらゆる情報を HMI 経由で IT 化する「HMI セントリック」構想を推進してきました。現在では、産業用コンピューター「PS5000 シリーズ」やフラッグシップ HMI である「SP5000 シリーズ」と合わせ「見える工場」の実現に貢献し、2019 年には出荷台数が 500 万台突破する予定です。

Pro-face by Schneider Electric は、100 年に一度と言われる製造業の変革における様々な課題を、常に最先端の技術と革新的な発想で解決するために、これからもあらゆる人に快適で簡便なヒューマン・インターフェースの未来を創造し、世界中のお客様に新たな価値を提供していきます。

### ■プログラマブル表示器生誕 30 周年 記念ビデオ

日本語版 [www.proface.com/ja/news/2019/0201](http://www.proface.com/ja/news/2019/0201)  
英語版 [www.proface.com/en/news/2019/0201](http://www.proface.com/en/news/2019/0201)

### ■プログラマブル表示器生誕 30 周年 記念ロゴ



## **Pro-face について**

1988 年 10 月に世界初のプログラマブル表示器を提供開始以降、“インターフェイスのスペシャリスト”として最高のインターフェイスをよりグローバルに、よりサステイナブルに提供し続けています。2002 年にシュナイダーエレクトリックと資本提携しました。

Pro-face by Schneider Electric を提供する株式会社デジタルは、2017 年 9 月にシュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社と合併し、社名変更しました。「for the best interface」のスローガンに基づき、様々な生産現場での産業機械に接続できるベストなインターフェイスとなる製品の開発を目指します。

[www.proface.co.jp](http://www.proface.co.jp)

## **Schneider Electric について**

シュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、電力インフラ、工場に向けたエネルギーマネジメントとオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。

世界 100 カ国以上で事業を展開し、低・高電圧およびセキュアパワーのエネルギーマネジメントとオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。

当社のグローバルなエコシステムの中で、当社のオープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携することで、リアルタイム管理や高効率な運用を実現します。

私たちは当社をとりまく素晴らしい人々やパートナーに支えられ、そして技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。

[www.se.com/jp](http://www.se.com/jp)

## **製品についてのお問い合わせ先**

TEL: 0570-056-800

## **報道機関からのお問い合わせ先**

シュナイダーエレクトリック マーケティングコミュニケーション 小林 Tel: 06-7176-3266 Email:

[norihiro.kobayashi@se.com](mailto:norihiro.kobayashi@se.com)

シュナイダーエレクトリック 広報 金光

Tel: 03-5931-7602 Email: [mayumi.kanamitsu@se.com](mailto:mayumi.kanamitsu@se.com)